

事務事業名	広域的公共交通ネットワーク検討事業				担当	総合政策部 総合政策課 交通政策係		
政策名	4	「都市づくり」～暮らしやすさアップ!～			<input type="checkbox"/> 総重 (総合計画重点事業) <input type="checkbox"/> 総新 (総合計画新規事業) <input type="checkbox"/> 戦拡 (総合戦略拡充事業) <input type="checkbox"/> 戦新 (総合戦略新規事業)	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 毎年度実施 (開始年度 R3 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
施策名	4	公共交通ネットワークの整備						
関連個別計画					事業期間			
法令根拠	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律							
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	7.企画費				
予算科目								
事業概要	<p>令和3年3月に策定された真岡市地域公共交通計画に基づき、高齢者の増加などの社会情勢やまちづくりの変化に対応した広域的ネットワークの構築を行うため、芳賀・宇都宮間で整備されるLRT清原トランジットセンターへのバス路線接続やJR宇都宮線自治医大駅、小金井駅への接続など広域的な移動について、既存バス路線の再編を含め、バス事業者や関係機関と連携して検討を行う。</p> <p>・令和3年度に「広域的な移動需要調査及びLRT清原トランジットセンター接続バス路線の検討」の中で、市民に対し広域的な移動に関する公共交通利用意向アンケートを行い、「自治医大・小金井駅方面の新規路線の利用」については、「利用する」と答えた方が27%、「LRTへの接続路線」については、「利用する」と答えた方は9%であり、利用者が見込めないことが課題となっている。</p>							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段 (主な活動)		④ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移								
<p>4年度実績 LRT清原トランジットセンター接続バス路線は需要が見込めず、年間4,000万円ほど財政負担が生じる課題があるため、今後のLRT運行開始後の需要を見ながら、引き続き検討を進めていくことを地域公共交通活性化協議会へ報告した。</p> <p>5年度計画 令和5年8月に運行開始予定の宇都宮LRTの状況を見ながら、LRT接続バス路線の実現可能性について検討を行うため、栃木県、宇都宮市、関東自動車と協議を行う。</p>		名称	単位	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(見込)		
		ア: 活性化協議会での協議回数					0	1	1	
		イ: 関係機関との協議回数						3	0	3
		ウ								
		エ								
オ										
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移								
真岡市民及び公共交通利用者		名称	単位	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(見込)		
		ア: 真岡市民					78,592	77,635	77,578	
		イ: 隣接自治体人口 (5市4町)					955,525	952,782	952,082	
		ウ								
		エ								
オ										
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑥ 成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移								
芳賀・宇都宮LRTやJR宇都宮線など、市外への移動需要への対応や本市への来訪者や観光客の需要に対応することで、公共交通の利用者の満足度を高める。		名称	単位	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(見込)		
		ア: 公共交通機関の利用に関する利用者満足度				32.5	33.4	37.7		
		イ								
		ウ								
		エ								
オ										
(2) 総事業費の推移		単位	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(見込)			
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	0	0	5,467	0	0		
	事業費計 (A)		千円	0	0	5,467	0	0		

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 公共交通ネットワークの整備に結び付いている。 また、超高齢社会の進展や運転免許証自主返納者の増加等に対応するために、広域的な交通ネットワークの構築を図ることで、公共交通利用者の利便性及び満足度を高めることができる。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 公共交通機関は市民生活やまちづくりに不可欠な基盤であり、市が行う業務である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) ・公共交通機関は誰でも利用できることから利用者全般を想定している。 ・「真岡市地域公共交通計画」においては、急速に進展する少子高齢化や、運転免許証を自主返納する高齢者の増加による、交通弱者の移動手段の確保対策が必要としており、広域的な交通ネットワークの構築は、一つの対策として不可欠なものである。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) 芳賀・宇都宮間で整備されるLRT清原トランジットセンターへのバス路線接続やJR宇都宮線自治医大駅、小金井駅への接続など広域的な移動について、既存バス路線の再編を含め、バス事業者や関係機関と連携して検討を行う余地がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携ができる(類似の事務事業名:) <input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携できない(類似の事務事業名:) <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) 必要な検討を行うための、最小の経費である。

3. 改革・改善方向の部

<p>(1) 改革の方向性(改革案・実行計画)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続</p>	<p>(3) 改革・改善による期待成果</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/	低下			/
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			/																		
	低下			/																		
<p>(2) 課題、課題の克服の方向性</p>																						

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える</p>		<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/	低下			/
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上																						
	維持			/																			
	低下			/																			
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <p>①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>																							
<p>(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(4) その他2次評価会議で指摘された事項</p>																						